

狂犬病予防注射を受けましょう

なぜ狂犬病予防注射が必要なの？

狂犬病は人間も感染、発症するとほぼ100%が死亡します。狂犬病の発生を予防し、まん延を防止するためにも狂犬病予防注射が必要です。

生後91日以上の子犬は、生涯1回の登録と毎年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。

狂犬病予防「集合」注射

時 4月7日(月)～15日(火)

※時間と各会場は市のHPを確認してください。

料 3,050円

※未登録の子犬は、登録料3,000円が別途必要です。

持 既に市へ登録をしている場合は、市が送付した案内はがき。

「個別」の狂犬病予防注射

小玉獣医科、林原犬猫医院、下江動物病院、せら動物病院では、随時注射を受けることが可能です。注射後その場で注射済票を受け取れます。ただし、注射料金は病院により異なります。

上記以外の動物病院で注射を受ける場合は、各動物病院発行の狂犬病予防注射済証を環境衛生課または上下支所へ持参し、注射済票の交付を受けてください。交付手数料は500円です。

注射済票

狂犬病予防注射を受けた後は注射済票を犬に付けましょう。注射済票は鑑札と併せて首輪などに付けることが義務になっています。



問 環境衛生課(☎44-9144)、上下支所市民生活係(☎62-2114)

こんにちは！ 府中警察署です！

府中警察署
(☎46-0110)

春の全国交通安全運動の実施

4月6日(日)～15日(火)

交通安全運動のポイント

子どもを始めとする歩行者が安全に通行できる
道路交通環境の確保と正しい横断道の実践

歩行者優先意識の徹底と、ながら運転などの根絶や
シートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進

自転車・特定小型原動機付自転車利用時の
ヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底

スローガン

てをあげて
くるまにおしらせ
ぼくはここ

交通事故を防止するために

⚠ 車同士の交通事故の約6割が交差点で発生

事故の多い追突を防止する

運転に集中し、前車の動向に注意を払いましょう。

事故の多い出会い頭を防止する

見通しの悪い交差点では、徐行や停止して安全を確認してから進行しましょう。

⚠ 道路横断中の歩行者の交通事故被害が多発

車を運転する人へ

横断歩道などでは、速度を控え歩行者の存在を確認して、歩行者がいる場合は一旦停止し、安全に横断させましょう。

歩行者へ

道路を横断する際は、手を挙げるなど運転者に横断する意思を伝えましょう。横断を始める時から横断を終えるまで、左右の安全をしっかりと確認しましょう。